別紙２

# 薩摩硫黄島の噴火警戒レベル判定基準の主な変更点

噴火警戒レベルの改定に伴い、薩摩硫黄島の陸域において噴火が発生した場合における判定基準を追加しました。

## 現行

| レベル | 当該レベルへの引上げの基準 |
|---|---|
| ５ | 次のいずれかが観測された場合<br>【居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が切迫あるいは発生】<br>○島内または島の周辺海域における現象<br>・規模の大きな体に感じる地震の多発（概ね、マグニチュード４が２回/24 時間、またはマグニチュード３が 10 回/24 時間）<br>・さらに多量のマグマの上昇を示す顕著な地殻変動<br>・火砕流、溶岩流が居住地域に切迫または到達<br>・硫黄岳火口中心から２km を超えて大きな噴石が飛散<br><br>○島の周辺海域における噴火<br>・居住地域から概ね２km 以内かつ浅い海域（水深約 100m以浅）における噴火<br>・噴火規模が拡大し居住地域に影響 |
| ４ | 次のいずれかが観測された場合<br>【居住地域に重大な被害を及ぼす噴火の可能性】<br>○島内または島の周辺海域における現象<br>・火口中心から居住地域方向へ１km を超え概ね２km 以内に流下する火砕流を観測<br>・体に感じる程度の地震の多発（概ね、マグニチュード３が２回/24 時間、またはマグニチュード２が 10 回/24 時間）<br>・多量のマグマの上昇を示す顕著な地殻変動<br><br>○島の周辺海域における噴火<br>（略） |

## 改定後

| レベル | 当該レベルへの引上げの基準 |
|---|---|
| ５ | 次のいずれかの現象が観測された場合<br>【居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が切迫あるいは発生】<br>○島内または島の周辺海域における現象<br>・規模の大きな体に感じる地震の多発（概ね、マグニチュード４が２回/24 時間、またはマグニチュード３が 10 回/24 時間）<br>・さらに多量のマグマの上昇を示す顕著な地殻変動<br>○硫黄岳火口における噴火<br>・火口中心から２km を超えて大きな噴石が飛散<br>・火砕流、溶岩流が居住地域に切迫または到達<br>○薩摩硫黄島の陸域または周辺海域における噴火が発生し、大きな噴石や火砕流、溶岩流により居住地域に影響<br>・陸域における噴火が発生し居住地域に影響<br>・居住地域から概ね２km 以内の浅い海域（水深約 100m以浅）における噴火が発生<br>・居住地域から概ね２km 以遠の海域における噴火規模が拡大し、居住地域に影響 |
| ４ | 次のいずれかの現象が観測された場合<br>【居住地域に重大な被害を及ぼす噴火の可能性】<br>○島内または島の周辺海域における現象<br>・体に感じる程度の地震の多発（概ね、マグニチュード３が２回/24 時間、またはマグニチュード２が 10 回/24 時間）<br>・多量のマグマの上昇を示す顕著な地殻変動<br>・溶岩流が居住地域に接近<br>○硫黄岳火口における噴火<br>・火口中心から居住地域方向へ１km を超え概ね２km 以内に流下する火砕流を観測<br>○島の周辺海域における噴火<br>（略） |

## 現行

| レベル | 当該レベルへの引上げの基準 |
|---|---|
| 3 | 次のいずれかが観測された場合<br>【火口中心から１km を超え概ね２km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】<br>・火口中心から居住地域方向へ概ね１km 以内に流下する火砕流を観測<br>・山体浅部を震源とする高周波地震の多発（地震回数が概ね 100 回以上/24 時間、または展望台東観測点で 200μm/s 以上の地震が概ね 10 回以上/24 時間）<br>（略）<br><br>【火口中心から１km を超え概ね２km 以内に影響を及ぼす噴火の発生】<br>・火口中心から１km を超え概ね２km 以内に大きな噴石飛散 |
| 2 | 次のいずれかが観測された場合<br>【火口中心から概ね１km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】<br>（略）<br>・ごく小噴火が継続または繰り返し発生<br>・継続時間の長い火山性微動（約 30 分以上）の発生、または振幅の大きな火山性微動の発生（展望台東観測点の最大振幅で概ね 50μm/s 以上）<br>（略）<br><br>【火口中心から概ね１km 以内に影響を及ぼす噴火の発生】<br>・火口中心から概ね１km以内に大きな噴石飛散 |
| | 次のいずれかが観測された場合<br>【火口中心から概ね 0.5km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】<br>・高感度の監視カメラで見える微弱な火映を時々観測<br>（略） |

## 改定後

| レベル | 当該レベルへの引上げの基準 |
|---|---|
| 3 | 次のいずれかの現象が観測された場合。警戒が必要な範囲は、原則として硫黄岳火口中心から概ね２km 以内とする。<br>【硫黄岳火口において、火口中心から１km を超え概ね２km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】<br>・火口中心から概ね１km 以内に流下する火砕流を観測<br>・山体浅部を震源とする高周波地震の多発（地震回数が概ね 100 回以上/24 時間、または展望台東観測点上下動成分で 200μm/s 以上の地震が概ね 10 回以上/24 時間）<br>（略）<br>【硫黄岳火口において、火口中心から１km を超え概ね２km 以内に影響を及ぼす噴火の発生】<br>・火口中心から１km を超え概ね２km 以内に大きな噴石飛散<br>【硫黄岳（硫黄岳火口外）における噴火の発生】<br>・硫黄岳（硫黄岳火口外）における噴火が発生し、居住地域に達しない範囲に影響 |
| 2 | レベル１またはレベル２（火口周辺規制：硫黄岳火口中心～概ね 0.5km）の段階で次のいずれかが観測された場合。警戒が必要な範囲は、硫黄岳火口中心から概ね１km 以内とする。<br>【硫黄岳火口において、火口中心から概ね１km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】<br>（略）<br>・ごく小噴火が継続または繰り返し発生し、噴煙量や空振振幅の増大傾向が認められる<br>・継続時間の長い火山性微動（約 30 分以上）の発生、または振幅の大きな火山性微動の発生（展望台東観測点上下動成分の最大振幅で約 50μm/s 以上）<br>（略）<br>【硫黄岳火口において、火口中心から概ね１km 以内に影響を及ぼす噴火の発生】<br>・火口中心から概ね１km以内に大きな噴石飛散 |
| | レベル１の段階で、次のいずれかが観測された場合。警戒が必要な範囲は、硫黄岳火口中心から概ね 0.5km 以内とする。<br>【硫黄岳火口において、火口中心から概ね 0.5km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】<br>・夜間に高感度の監視カメラで微弱な火映を時々観測<br>（略） |

主な変更点を赤字（下線付き）で表記しました（軽微な変更点は下線のみ）。
この他、各基準の記載の体裁なども見直しました。